臨床検査に関するお知らせ

株式会社セントラル医学検査研究所
TEL（本社）029-225-8858 （下館）0296-28-5900

先生各位

平成27年10月
A-15-18

検査内容変更のお知らせ

拝啓　時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
この度下記検査項目におきまして、検査内容を変更させて頂きたくご案内致します。
何卒ご了承賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

◆　変更日　　平成27年10月26日（月）ご依頼分より
◆　変更内容

2014･15年検査案内	項　目コード	検査項目	変更内容	新	旧
未掲載	820	L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP)	検体量	部分尿　2.0mL	部分尿　1.5mL
			検体保存(安定性)	冷蔵 (14日間)	冷凍
			所要日数	3～6日	4～7日
			検査方法	CLEIA	ELISA
			基準値(単位)	L-FABP ｸﾚｱﾁﾆﾝ換算値 8.4以下(μg/gCr)	L-FABP濃度(ng/mL) ｸﾚｱﾁﾆﾝ換算値 8.4以下(μg/gCr)

【備　考】
凍結保存および他項目との重複依頼は避けてください。
酸性蓄尿は検査値に影響を及ぼす場合がありますので、避けてください。
室温保存ではデータ影響が認められるため、速やかに冷蔵保存にてご提出ください。

●●● L型脂肪酸結合蛋白（L-FABP）［CLEIA］

糖尿病性腎症や急性腎不全の早期診断、腎疾患の予後を推測するのに有用です。

L-FABP は、腎臓の近位尿細管に発現する分子量 14kDa の可溶性蛋白であり、腎臓の再吸収機能を担う尿細管において、エネルギー代謝や脂質代謝に重要な役割を担っています。
L-FABP は、近位尿細管が虚血や酸化ストレスの負荷を受けると発現が増強し、尿中への排出が増加することから、組織障害が進行する前のストレスの程度を反映する新しいバイオマーカーとされています。
新法(CLEIA)は、検出感度の向上により、旧法(ELISA)と比べ早期の検出が可能になると考えられます。

◆疾患との関連

- 腎疾患
- 糖尿病

◆関連する主な検査項目

- 尿中Ⅳ型コラーゲン
- シスタチンC

◆ 参考文献

富田健一郎，他：医学と薬学 72(8)：1389～1395，2015.(検査方法参考文献)
上条一也，森敦子，他：MEBIO27(1)：58～63，2010.